

# (仮称) 北海道立林業大学校の誘致に係る取組状況

## 1. 北海道の検討状況について

北海道は4月3日、(仮称)北海道立林業大学校基本構想を発表しました。基本構想の概要は次の表のとおりです。

項目	内容
名称	(仮称)北海道立林業大学校
教育内容	「教育課程」 専門的な知識や実践的な技術を2年間で習得 ○1年目：基礎的知識・技能の習得、資格取得等 ○2年目：地域実習や長期企業研修など実践力の習得等
就学要件	道内事業体等に就業を希望する者で高等学校卒業又は同等以上の学力がある40歳以下の者
学年定員	40人程度
施設	「校舎」 既存施設を最大限活用しながら整備をすすめるとともに、新築での整備が必要な施設については、道産木材の利用を検討 「実習フィールド」 地域の特徴などを十分踏まえ、6圏域区分（道央、道南、道北、オホーツク、十勝、釧路・根室）などを参考に、各圏域に所在する道有林や市町村有林を活用するなどして、実践教育に必要な実習可能なフィールドを確保
開校スケジュール	講義、実習などのカリキュラムの作成や講師の選定、企業や地域との連携協定の締結などを行うとともに、学生の確保に向けた説明会を開催するなど、平成32年度を目途とした開校の準備を進める

※ 基本構想では、林業大学校の設置場所は示されておりません。

## 2. 他地域の動向について

本市を含め、オホーツク管内、釧路・根室管内、十勝管内、上川管内など13の地域等が林業大学校の誘致に手を挙げています。

## 3. 取組状況について

4月23日に本市の協力体制をまとめた「提案書」を北海道知事に提出する予定となっており、**官民一体となって「オール芦別」**での誘致活動を継続しています。

**引き続き市民の皆様のご協力をよろしくお願いいたします。**